

第5回 今治市総合戦略推進会議 会議録

1 日 時 令和8年2月9日（月）14時00分～16時00分

2 会 場 今治市役所第2別館11階 特別会議室1・2号

3 内 容

1 開 会

2 議 事

(1) 次期今治市総合戦略（案）について

(2) 次期今治市定住自立圏共生ビジョン（案）について

(3) 答申について

(4) 今後のスケジュールについて

3 閉 会

4 出席者 <委 員>（※五十音順、敬称は省略）

青木 誠 赤瀬 祐三 池田 拓也 池田 忠 宇佐美浩子

大石 一浩 大成 経凡 瀬野 哲郎 高橋 典子 西原 博史

藤井 康隆 村上あらし 吉田 和史

※欠席者7名

<事務局>

総合政策部

企画政策局長 波頭 健

市民が真ん中課

課長 中田 匡亮 課長補佐 尾崎 大輔

政策調整推進官 森 聖二 係長 重松 辰弥

主査 安部 昂大

（委託業者）有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所

黒山 祐嗣

第5回今治市総合戦略推進会議 会議録

事務局	(議事1の内容について説明)
会長	次期今治市総合戦略について委員の皆さんから概ね方向性についてご了承をいただいている認識である。今後実施いただきたい事項や期待などがあればご意見いただきたい。
委員	<p>FC今治の文言を入れていただいております、サッカーを通じて今治市を盛り上げていく役割を仰せつかっていると感じ、大変ありがたい。サッカーに留まらず、他のスポーツも盛り上げ、今治市を盛り上げていきたい。ジュニアアスリートの発掘・育成などは、サッカーの分野において進んでいる。若い世代の育成ノウハウや、岡田メソッドなどの指導者の育成ノウハウを、他のスポーツへも活用していきたい。</p> <p>株式会社アシックスとアシさとクラブを発足した。株式会社アシックスからの出向社員を中心に、ランニングコミュニティの輪を広げようとしている。アシックス里山スタジアムがクラブ活動の中心エリアであるが、スタジアムを越えて、ランニングコミュニティの輪が広がっている。ランニングやウォーキングを通じて、子どもたちの健全育成や高齢者の健康増進に努めていきたい。</p>
会長	私もアシさとクラブの活動の一貫で、みちくさんぽのイベントに参加し、今治市の歴史的なスポットを回った。今治市の魅力を改めて認識することができる良い機会であった。スポーツを通じて子ども達が今治市の歴史や魅力を知る機会になっていただけたら良い。
委員	アシックス里山スタジアムで、ふるさとキャリア教育の発表会がある。発表会では、中学生がふるさとキャリア教育を通じて学んだ今治市の魅力を発表する。今治市の子ども達がふるさとの魅力を知り、誇りを持ち愛着を育むことが今治市への定住に繋がる。学校現場では、英語教育やプログラミング教育など様々な学びが増えているが、ふるさとへの愛情が子ども達の基盤になると考える。自分自身や自分が住んでいる今治市の魅力を発見することで、自己肯定感の向上に繋がってほしい。
会長	児童虐待の件数が増えていると伺ったが、現状について教えてほしい。
委員	学校や児童相談所等への報告が以前より行われるようになったことが、児童虐待の件数増加の一因だと考える。教育などの面から問題を抱えている家庭が増えている。未来ある子ども達を守るために、学校や保護者間だけでな

委員	<p>く、地域全体で重層的支援を行うことが重要である。</p> <p>高市早苗総理大臣が日本の重要産業として造船業に言及いただいたことに大変感謝している。日本が、造船業への1兆円規模の投資資金を活用して、韓国や中国の造船業に対抗できるかはこの10年間にかかっている。今治地域造船技術センターとしては、今年4月から、昨年と同様に100人程度の職業研修への申込があり大変喜ばしく感じているが、少子化が加速化していく中で、どのように人手を増やすことができるか考えていきたい。</p>
委員	<p>インバウンドの増加が顕著となっている。今治市に訪れる宿泊客でサイクリングを行う人の割合は、日本人宿泊客で約30%、外国人宿泊客で約100%となっている。次期総合戦略に記載のあるとおり、観光客のために道路整備などを引き続き進めていただきたい。観光の視点からは、非常に良い次期総合戦略だと考える。</p>
委員	<p>児童虐待の話があったが、今治市ではこども食堂が拡大している。行政主導の活動ではないが、引き続き支援いただきたい。アシさとクラブの活動に参加し、市内を歩きながらゴミ拾いを行った。市民活動を育てていくとともに、アシさとクラブと地域内事業者や団体がよりコラボレーションしていくことで、市内の活気が増すと考える。観光については、今治市の一番の魅力は海の景観である。自然景観を活かした戦略が次期総合戦略にあると良い。滞在型観光の記載があるが、クルーザーやヨットなどを活用した、海からの訪問客も見据えてほしい。</p>
委員	<p>各委員からの意見も反映されており、次期総合戦略としては良いと考えている。地域公共交通全体の視点からの意見としては、南予地域の公共交通が非常に危機的な状況であり、今治市も近い将来、南予地域と近い状況になる可能性がある。交通事業者は、未来の地域公共交通について考える余裕がない程、緊迫した状況である。地域公共交通業界は将来の見通しが不十分であると感じる。他業種においては、業界の活性化を目的とした多様な戦略が検討されている。他分野における戦略立案の考え方は、地域公共交通においても活用可能である。地域公共交通の方策検討を交通事業者のみに委ねるのではなく、多様な主体の意見・知見を取り入れる必要がある。</p>
会長	<p>委員の皆さんから追加の意見がないとのことなので、議事1の内容について概ね了承をいただいた理解である。今後細かな修正等があれば、事務局及び会長一任とさせていただきたい。</p>

事務局	(議事2の内容について説明)
会長	事務局から説明もあったとおり、平成大合併で12の市町村が合併した圏域ですので、きめ細かく方針が示された。何か意見はないか。
委員	今治市の基幹産業である造船業を支えていくため、市と引き続き協力していく必要がある。一方で、少子化が進む中、造船業の担い手をどのように確保していくかが大きな課題となっている。協力会社を含む人材全体の不足が懸念される。また、AIやDXが進展しても造船の現場には手作業が残る部分が多く、技能者の確保は不可欠である。こうした点を踏まえ、今後は造船業の人材確保策について、市と関係者が一体となって検討し、重点的に取り組んでいきたい。
委員	タオル産業についてだが、生産量ではなく「質」を重視し、今治ブランドの価値向上に軸足を置くべきでだと考える。今治タオルは本来、世界で評価されるブランドを確立するために立ち上がったものだと理解している。需要が減っていることは承知しているが、ブランドを掲げている以上、今治タオルとしてのあり方を再構築する必要がある。タオル製造には職人の確保が不可欠であり、タオル工業組合や染色組合といった既存の組織の枠を超えて、業界全体を横断的にまとめるヘッドクォーター的な機能を設け、戦略を一元的に考えていくことが必要。「今治タオル本格的海外展開」には、早急に体制を整え、行政がリーダーシップを発揮して取り組む方向性も重要だと感じる。
委員	救急、在宅医療、看護師の育成支援、t-PAホットラインなどに対する取り組みに対して、多くの支援を市から受けており、愛媛大学の医師・看護師派遣も継続してもらおうなど、今治市の医療支援は中四国でも突出している。医療は社会インフラでありながら、診療報酬の影響で多くの医療機関が赤字である。課題は救急医療の維持と看護師不足で、県病院も看護師確保ができず赤字が拡大している。そのため医師会として看護師育成に力を入れている。ただし医師会だけでは対応できないため、オール今治で取り組む必要があると考える。現在、基金を設け、その運用益を看護師育成に充てる新事業を検討している。
委員	図書館は非常に重要であり、読書する市民が増えることで、まちの文化水準は確実に向上すると考える。また、学校司書については、現在市独自で2名が4校を巡回しているが、人数を増やしてほしいと教育委員会に要望している。学校司書が増えることで、子どもの居場所づくりにもつながっており、

	必要性がさらに認識されて拡充されることを期待する。
委員	今治はものづくりの基盤があるが、良いものを作っても市場とのずれが生じがちで、戦略的にマーケットを見られる人材が必要であり、ものづくり全体で市場視点を強化すべきだと感じる。
委員	ビジョンの内容は問題ない。農協としても市と協議しながら担い手確保に取り組んでおり、移住フェアにも職員が参加して、農業を希望する移住者の掘り起こしを進めている。また、中古ハウスのリノベーションなど、農業所得向上につながる施策も連携して進めている。
委員	「しまなみ・今治」のブランド力を活かし、今治産の魚のおいしさを積極的に発信していくことが重要である。漁獲量は減少し価格も低迷しているが、漁場整備や稚魚放流の継続、海ゴミ処理や海岸整備を進めることで、漁業者が生活できる環境を整え、担い手増加につなげていく必要がある。
委員	企業立地奨励金などを盛り込んでもらっているが、市内事業者の大きなニーズは、造船関連を中心に効率化のための設備投資用地の確保である。タオル産業など他分野でも集約化のための用地需要が高い一方、今治では準工業地域や工業用地がほとんど見つからず、用途変更も難しい。そのため設備投資が進まず、事業展開できない、あるいは市外に出ざるを得ないケースが生じている。地域内で増産・効率化・雇用確保の投資がしやすいよう、用地環境の整備を進める必要がある。
委員	観光ではないが、船と公共交通が気になっている。自社でフェリーのポータルサイトを作っているが、赤字航路も多く、単純に売上を伸ばす努力ができない事情も聞いている。観光の視点で見ると、船旅はサイクリングに匹敵する魅力があり、もっと活用できるポテンシャルがある。行政の協力も期待したい。また、雇用確保には外国人採用が不可欠で積極的に進めているが、受け入れ側・来る側の双方が文化を楽しめる環境づくりが必要だと考えている。市としても広報面などで支援があるとありがたい。
委員	今治の魚は日本一おいしいと思うので、まずは地元の間人が積極的に発信していく必要があると感じている。また、外国人に関して、話を聞くと生活や仕事の質を左右するのは日本語力の影響が大きいと感じる。日本語検定の受講に対する支援も検討するのも良いのではないかと思う。
委員	地域公共交通の数値目標として「活性化協議会の開催回数4回」などを掲

		<p>げるのは本質的ではなく、目標としては不適切だと思う。会議を開いても、それ自体で公共交通の維持や活性化にはつながらない。また、地域公共交通の維持・活性化について、病院へ行く際に本当にバスを使うのかという視点も必要で、タクシーなど他の移動手段にも目を向けるべきだと思う。</p>
委 員		<p>スタジアムについては「成長するスタジアム」という考え方の中で、防災拠点としての機能も持たせられるのではないかと感じており、近くのクリーンセンター（バリクリーン）とも連携できる可能性を探り始めている。また、増席すると来場者が3,000人増え、車の増加が確実な一方で周辺に駐車場がないため、シャトルバス運行などを検討する必要があると考えている。さらに、FCとして市内交通への貢献も課題。スクール送迎や遠征でマイクロバス4台を持っているが、運転手不足が深刻。夏休みなどはバスも運転手も稼働していない期間があるため、幼稚園バスなども含め、こうした車両・人材をどう活用できるか、市と一緒に考えていきたいと思っている。</p>
事 務 局		<p>定住自立圏構想は生活圏域をどう守るかというビジョンを示すもので、先ほど出た意見をすべて盛り込むのは難しい。しかし、いただいた意見は、総合計画の実施計画や各課の個別計画の中で反映できないか検討していきたい。</p>
会 長		<p>ビジョンへの反映については、了解した。その他意見がないため、今後細かな修正等があれば、事務局及び会長一任とさせていただきたい。</p>
事 務 局		<p>（議事3の内容について説明）</p>
会 長		<p>答申案についてご意見あるか。</p>
委 員		<p>答申案の文章で、持続可能な「都市運営」と記載があるが、市長に提出する文章であるため、「都市経営」に表現を修正してほしい。</p>
事 務 局		<p>ご意見を踏まえ、よりよい答申となるよう修正させていただく。</p>
事 務 局		<p>（議事4の内容について説明）</p> <p>一同意見なし</p>
事 務 局		<p>本会議は令和6年9月30日の第1回から1年以上議論を重ね、本日で5回目を迎え、第3次今治市総合戦略と第5次定住自立圏共生ビジョンの素案</p>

会

長

をまとめることができた。委員の皆様には各分野でのご活躍を祈念するとともに、今後も委員の皆様からご意見をいただき市政運営へのご尽力を賜りたい。

各委員におかれましては、長期間にわたり貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。以上をもって、総合戦略推進会議を閉会する。